



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第64号(2009年8月3日)



【堅調なカタール経済】



世界的な景気後退の最中にありながら、カタールは大きな経済成長が期待されています。IMFのGDP成長率予想では、2009年、2010年共に15%を超える成長が予想されています。

同国内の産業に目を向けてみても、堅調な様子が伺えます。実際のところ、国内のセメント需要は旺盛で、1日約3,000トン輸入しないと賸えないほどの状況が続いているようです。この状態を裏付けるかのように、国内セメント最大手のカタール・ナショナル・セメント・カンパニーの2009年上半期の純利益は増益となっています。

また、カタールの重要性の高まりを象徴するかのように、6月21日より、カタールのドーハ証券取引所はカタール取引所と名称を変更し、取引を開始しました。この名称変更の背景にあるのは、同取引所のNYSEユーロネクスト・グループ入りです。世界的な証券取引所の覇権争いの中で、同グループは、今後重要性が高まってくるであろう中東地域のハブとして、カタールを選択しました。今回NYSEユーロネクストは同取引所に、20%の出資を行っています。

(カタールを語る)



出所: Qatar National Cement Company



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【夏のお祭り！ドバイ・サマー・サプライズ】

ドバイにて、夏の一大イベント「ドバイ・サマー・サプライズ(以下、DSS)」が開催されています。

第12回目を迎える2009年においては、6月11日～8月14日が開催期間です。ドバイ政府の関連機関がスポンサーとなり、大手ショッピングモールやホテルで、1週間ずつテーマを変えて様々なイベントを開催します。中でも観光客の目を引くのが、ショッピングモールで開催されるバーゲンセールです。高級なイメージのあるドバイですが、期間中は高級ブランドが40～80%オフの価格で買えるということで、ヨーロッパやアジアなど、多方面から観光客がやってきます。その他には、高級車や現金が高確率で当たる懸賞くじ「DSSラッフル」が販売されたり、30以上の有名スパでDSS特別メニューが提供されたりと、見所満載な内容となっています。

DSSは2008年、約210万人を動員し、売上高は33.5億UAEディルハム(約866億円)となりました。以前らくだより49号にてご紹介した、1月のドバイ・ショッピング・フェスティバルにも沢山の来場者が訪れましたが、厳しい経済環境にある2009年、その経済効果にも注目が集まっています。

(マグニチュードー8.2)



出所: Dubai Summer Surprises



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【夏といえば・・・】

冷やしたスイカのおいしい季節となってきましたね。

実は灼熱の中東でもスイカは食べられているのです。

ドバイでは、鳥取からスイカが輸入されています。鳥取中央農協が、“急激な経済成長を遂げる同国には商機あり”と考え、主に富裕層をターゲットに2008年から出荷を開始しました。



ではなぜ、富裕層なのか？それは、もちろん値段です。日本ではスイカは安いかもしれませんが、こちらでは13キロのスイカが日本円にして約3万円で売られています。日本の豊かな気候で丹念に育てられたスイカの自然の甘みは、中東の富裕層にも支持されているようです。これでも景気減速の影響を受けて、1キロあたりの単価は昨年と比べて10%以上の値下がりしているようなので、多少は手に入りやすくなっているのでしょうか。

和歌山産ミカンや栃木産ナシも、日本の価格の数倍ながらリピーターが付くほど、一部で支持されているようですので、今後も商機が広がるかもしれません。

しかしながら、金曜日の礼拝後に現地の人食べるには、アイスクリームの方が愛されているようです。

(ストレス・ハッサン3世)



出所: Khaleej Times



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

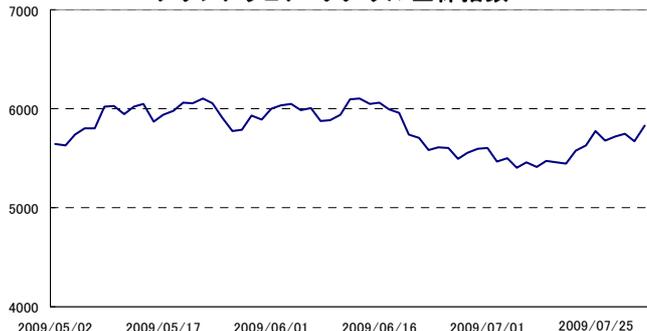


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)

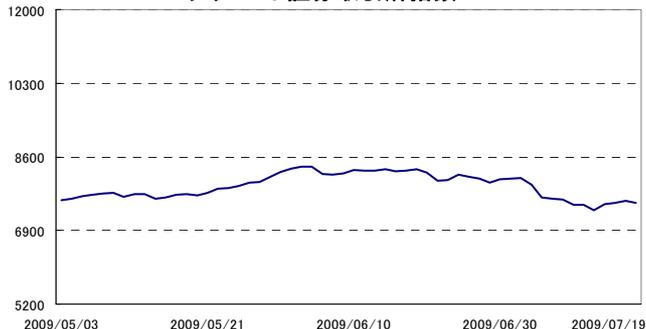
ドバイ金融市場総合指数



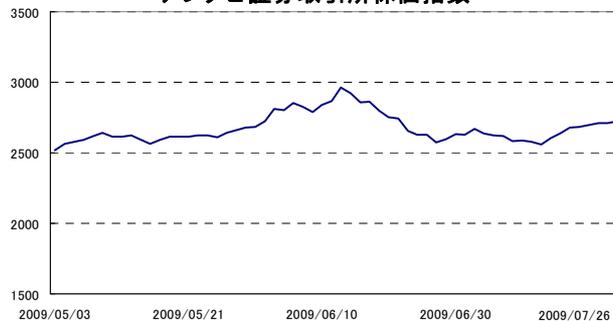
サウジアラビア タダウル全株指数



クウェート証券取引所指数



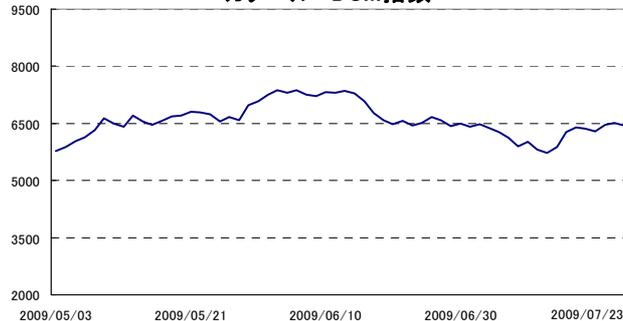
アブダビ証券取引所株価指数



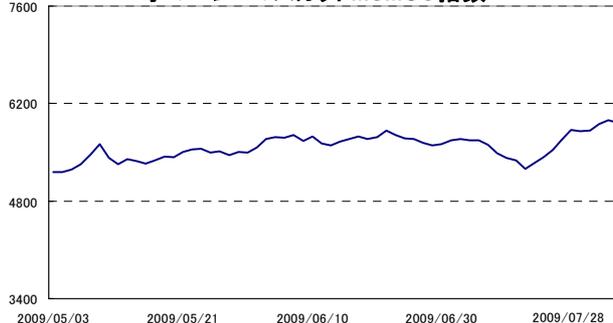
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。